

----- 本日のプログラム -----



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
2021-22RIテーマ

<第2258例会>
2022年5月30日(月) 12:30

クラブ奉仕委員会担当例会
藤城英明会員・出村知佳子会員 卓話



♪「奉仕の理想」

会員誕生日祝	入会記念日祝
おりません	おりません

前々回例会記録 2256回 5月16日(月) 12:30



担当

クラブ奉仕委員会
プログラム担当
阿部 弘 副委員長

【司 会】 藤城 英明 会長
【ビジター】 おりません
【ゲスト】 おりません

5/16 出席報告

会員数	出席	欠席	除外	MU	%
38	29	8	1	---	78

※出席免除期間

会長報告

- 今日は、札幌北 RC のレジェンド3名の卓話となりますので、会長報告は出来るだけ短縮して行いたいと思います。
- 昨日、北海道で初となる RLI 卒後コースの研修会が ZOOM にて行われました。地区の RLI 研修としては一区切りとなり、リーダーである酒井パストガバナーや渡邊葉子委員長はおそらく今回が最後となる報告がなされておりました。大日向ガバナーからは、RLI 研修は、ロータリー会員にとって、または、ご自身の会社にとって、とても役に立つ研修内容ではないかと感想を述べられておりました。参加者は30名ほどでした。
- またその中で、明石ロータリークラブの会員が事故を起こした件が報告され、ロータリー会員には道徳と倫理についても重要で、会員が絶えず成長することが大切とお話がありました。
- 沖縄の本土復帰から15日で50年でした。札幌北ロータリークラブの創立と時期が重なり、時代背景を知ることが出来ました。

委員会報告

- ◆創立50・51周年記念例会幹事(栗原会員)・・・5/23 創立50・51周年記念式典祝賀会について

会務報告

- ①次週5/23は夜間の創立50・51周年記念例会となり、場所はロイトン札幌となりますので、皆様お間違えのないようお願い致します。



ニコニコBOX

😊 **出村知佳子会員**：●4月23日、24日の第1地域PHS認証式では藤城会長をはじめ、北クラブの皆様大変お世話になりました。おかげ様で全国から100名が集い、素晴らしい会になりました。●4月30日のウクライナ支援募金、素晴らしい活動になりました。大変お疲れ様でした。●小林博先生、相沢芙束先生、竹原巖会員の卓話を楽しみにしております。

😊 **佐々木仕会員**：めったに聞けない小林会員、相沢会員、竹原会員の「人生について」楽しみにしています。

😊 **藤城英明会員**：本日は札幌北ロータリークラブのレジェンド3名様の卓話です。とても楽しみです。大きくニコニコします。

😊 **蓑輪隆宏会員**：先週の次年度クラブ協議会ありがとうございました。皆様と仲良くやりたいと思いますのでどうぞ宜しくお願い致します。あと、遠藤さん、我が野球部に立派な脚立のご寄付ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

😊 **姫野芳安会員**：本日の小林会員、相沢会員、竹原会員の卓話、大変楽しみにしておりました。よろしく願い致します。

😊 **渡邊靖司会員**：本日、入会祝いを頂きましてありがとうございます。ニコニコです。

😊 **中園直樹会員**：本日より、当札幌北ロータリークラブでお世話させて頂くことになりました、奨学生の代書芸さんをお迎えすることが出来、ニコニコします。代ちゃん、札幌北ロータリークラブによろこそ。これからよろしく願います。

😊 **鈴木隆也会員**：本日は小林先生、相沢先生、竹原さんのレジェンド3名の卓話楽しみにしています。

😊 **谷口昭博会員**：本日の小林会員、相沢会員、竹原会員の卓話を楽しみにしております。ニコニコします。

😊 **林里紅会員**：本日はレジェンドの皆様のお話楽しみです。本当に本当に楽しみです！心の底からニコニコします。

😊 **川内玄太会員**：本日の卓話、大変楽しみにしております。普段の生活が少しずつ戻ってきてニコニコです。

メインプログラム



人生に大切な
「健康、お金、愛」のうち、
1つだけしか与えられないとしたら
どれをとりますか？

小林博 会員

世の中には大切なものがたくさんあります。でも整理して整理して、最後に行きつく大事なものは、「健康」「お金」「愛」の3つに集約されるかと思えます。そのうちの1つだけしか与えられないとしたら、貴方はどれを選びますか？

「健康」は生きていくためになくてはならない大切なもの。「お金」も絶対なくてはならないもの。「愛」というと男女の愛を想像するかも知れませんが、宗教的な意味での愛の心のことです。この3つはいずれもなくてはならないものばかりです。しかし、どうしても1つだけしか与えられないとき、あなたはどれをとりますか？

市民のみなさんに聞いてみました。「健康」と答える人が多いようです。なかにはお金といわれる人もいます。愛の心こそ大事だといわれる方もおられます。3つのうちの1つだけでは、生きていくことは無理なことです。それでも敢えて本当に1つだけとしたら？

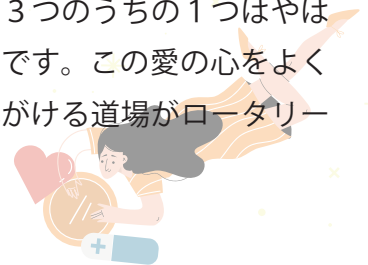
正解はございません。人それぞれの受け止め方があると思います。回答は人生の変遷とともに変わってくるかも知れませんが、私自身若い頃は「健康」が一番と思っていました。医学の道を行くものとしては当然なことです。でもその後、身近な

人達ががんで倒れていく現実を多く目の前にしてきました。その人達に同じ質問をしたことがあります。彼らの回答は「健康」ではなく、また「お金」でもなく、決まってみんな「愛」でした。

ここでロータリーの原点を考えてみたいと思います。ロータリーは奉仕と親睦の団体だといわれています。そのとおりかも知れません。しかし世のなかに奉仕団体はたくさんあります。親睦団体もたくさんあります。ロータリーがそれらと同じものだとすると、ロータリークラブは一体何のためのもののでしょうか？素朴な疑問です。

私はロータリーの本質は「愛」の心ではないかと考えております。慈愛の心といってもよいでしょう。ロータリーの心は「弱者に対する優しい労りの心、これを口で言うだけでなく、行動で実践すること」。これがロータリーの一番大切なことではないかと思っています。

人間、いずれ死を迎えます。追い詰められた人生究極のときに思いつく3つのうちの1つはやはり「愛の心」しかないのです。この愛の心をよく学んで、実践しようという心がける道場がロータリーなのです。



目の健康について 特に緑内障について

相沢 芙東 会員

緑内障は失明疾患の第1位として重要な眼疾患で注目されています。

眼圧上昇・視野狭窄・視神経の緑内障性萎縮及び陥凹を主症状として視機能低下で失明する疾患で、症状の軽快はみられません。他の感染症の病気とは全く異なります。

緑内障の病態は現時点では十分に解明つくされていないのが現状です。眼圧下降のみが現在判っている有効な治療法です。緑内障の治療では早期診

断と早期治療が大切な点です。更に一生の治療になりますので、治療中止と脱落は避ける事が重要になります。

日本では緑内障と診断されてから10人中9人は脱落している大変困った状況です。世界中では緑内障と診断された50%は治療を受けています。これは何とかしなくてはなりません、放置されている現状で日本の衛生に関する知識の向上が望まれる処です。

視野は消失する前に周辺から欠損しますが多くの患者さんは周囲から見えなくなるため視野欠損の気づきに遅れます。病気が中期以上に進行するまで気付かず放置しているのが現状です。

緑内障は早期診断、早期管理が大切です。

【略歴】

昭和25年3月20日	北海道立女子医学専門学校卒業
昭和25年4月～昭和26年3月	札幌医大附属病院インターン(医師国家試験合格)
昭和26年8月～昭和30年4月	札幌医大病理学助手
昭和30年5月～昭和36年5月	札幌医大眼科助手
昭和32年12月～昭和35年4月	米国留学(Cornell大学医学部眼科 Research Associate)
昭和36年6月～昭和46年5月	札幌医大眼科講師
昭和46年6月～昭和49年6月	札幌医大眼科助教授(現准教授)
昭和49年7月～平成4年3月	市立札幌病院眼科主任医長(現主任部長)
昭和62年10月～平成4年3月	市立札幌病院理事(主任医長兼務)
平成4年4月～現在	アスティ相沢眼科院長
平成12年9月2日	日本緑内障学会名誉会員

相沢芙東先生は札幌医科大学を卒業になり、札幌医科大学助教授・札幌市立病院眼科部長として活躍され、また現在はアスティ相沢眼科の院長として眼科医療、とくに緑内障の分野について、ふるくは緑内障研究会の時代から、現在の日本緑内障学会に至るまでご活躍してこられました。特に、北海道地区における緑内障医療への貢献には多大なものがあり、ここに緑内障学会名誉会員となりました。(日本緑内障学会名誉会員推薦書より)



「私の生きざま」

竹原 巖 会員

阿部先生からロータリーの話もためになるが、今回は「竹原の生きざまについて話せよ」とのことでした。今年、3月31日に77歳を迎え、節目を振り返る良い機会だと思いましたので、お引き受けいたしました。

私は赤平という炭鉱の町で昭和20年に生まれ、高校生まで過ごしました。勉強に飽きると近くの公園に行き、詩集、小説を読みふけり、漂泊を夢見る少年でした。当然のことながら受験には失敗し、札幌で姉の家に下宿して、予備校に通う浪人生活が始まりました。田舎から出てきた少年は、華やかな大都会の札幌にしっかりと魅了され、予備校仲間や就職していた同級生達と毎日遊びまわる、楽しい・楽しい浪人時代を過ごしております。

そんな私を見て姉の夫で国税局に勤務していた兄から、酒・雑貨店を手伝ってはどうかと誘われました。このまま、受験勉強を続けていても再び不合格になることが必至だったので、義兄の提案を受け入れ、販売の勉強を始めました。2～3年すると商売の要領を覚え、古参の社員たちを指導するようになりました。

そのような時、1967年の秋ごろ私の兄より、共同創業者だった社長が亡くなり会社を引き継ぐことになったが、遺族と揉めいて新しく会社を始めようと計画しているので、一緒にやって欲しいと誘われました。家業である鉄を使ったの物作りの仕事には、違和感なく溶け込めそうなので兄の提案を受け入れました。

手探りで設立準備、社員募集の目途も終えて、1968年春より総勢7名で創業いたしました。会社を始めたのは良いが、果たして注文が来るのか？心配されましたが、兄が旧会社で取引していたお得意様からの信頼が厚く、自社だけで作り切れないほどの発注をいただき、仲間の会社の応援

を仰ぎ、また、休日出勤や残業をしなければならぬ多忙な日々が続くスタートとなりました。会社を始めた6か月後の秋には、現在地に土地を購入。翌春に工場、事務所、宿舎を新築しました。兄も私も20代・30代と若かったこと、日本経済が高度成長期に突入し、札幌市も大きく成長する時代と重なり、会社は資本金の増資、工場の増設を毎年のように続け、順調に拡大していきました。

会社を存続させ発展させるために、多くのことを心掛けてきましたが、特に強く心掛けたことは、会社・自分を取り巻く全ての人々、最近では「ステークホルダー」と言うようですが、社員、家族、仕入先、協力会社、同業者、客先等々に公平に、そして思いやりをもって接することを第一に心掛けました。この思いはロータリーの職業奉仕に通じるものであり、この職業奉仕の理念は、私にとって会社を経営・運営するうえで大きな自信を与えてくれるものでした。

2006年4月1日から社長に就任し、長期的な観点から工場のリニューアルや機械の大幅な入れ替えなど、大胆で積極的な投資を行いました。リーマンショックもあり景気低迷の時期でしたので、回りから竹原は何をやったと不審がられましたが、私は日本全体が再開発による建築需要が必ず拡大すると予測し実行しました。

2018年3月末、会社創立50周年を節目に社長職を引退し、二つの会社は甥と息子にバトンタッチしました。これまでに、六つほど会社を設立し会長・社長・取締役をしていましたが、2018年までにすべての会社から一線から退くとともに、各種団体などの役員もすべて退任しました。

社長職を退いた後は、人生を楽しむために、いろいろな計画を持っていました。世界遺産巡りや、青春時代に読んだ本を読み返す、収集したレコードやCDを聴く等、青春時代に感じた感動が、今どのように感じるのか知りたいと思っていました。ところが、加齢に伴う視力や聴力の低下によって、計画どおりにはいきませんでした。健康で頑強な体でしたが、昨年春より夜中にトイレ

に起きるようになり、その頻度も増して機能の低下を感じ、診察を受けようと思っていた矢先、浜松市に3月初めゴルフに行った折、早朝から排尿困難となり、浜松の病院で処置してもらい、札幌に戻り次第精密検査を受けるようアドバイスいただきました。診察結果は膀胱がんと前立腺がんで、4月1日に入院、5日に手術しました。がんはリンパから骨、肺などに転移していますが、ホルモン療法という治療法で治療を始めました。主治医からは「完治するのは難しいが、転移したがんも抑制することが出来ると思う」といわれました。先生からの話を冷静に聞くことが出来て、ショックを受けたり悲観的な気持ちには、まったくならなかったです。これからは、小林先生がおっしゃっている「元気に老いて、がんで逝く」をモットーに実践したいと考えています。

私の人生はどれだけ残されているのか？わかりませんが、かねてより描いていた夢を、出来れば叶えて終末を迎えたいと思っております。夢の一つは、札幌の街を音楽であふれ芸術豊かにする「街角ピアノ」の活動です。当クラブが創立20周年

記念の一環として「札幌芸術村」に寄贈したグラウンドピアノ「ペトロフ」(チェコ製)を使い、札幌芸術文化財団で管理している「市民ギャラリー」で開催しては、という話も来ております。これらの活動を出来る限り実行させ継続できるよう願っております。

二つ目の夢は、コンサートホールと地域の人達が、自由に集える集会所をすることです。会社で建設を計画しているビルの中に、「コンサートホールを作って欲しい」と息子にお願いしたら「収益の生まない事業に資金を使うのはだめです。会長個人でやってください」と一蹴されました。確かなことだと納得し、自分で実現しようと計画しております。コンサートホールと言っても、大規模なものではなくピアノ教室の発表会が出来る程度の小規模なものです。集会所はお年寄りの趣味のサークルや、子供たちの学習の場として気楽に使えるものです。この二つの夢が実現できるまで、がんと仲良く共存していこうと思います。これで私のスピーチのエンディングとします。

4/18 メインプログラム



札幌市の教育の現状

札幌市教育委員会 指導主事
アルティ みお様

この度は、大変貴重な機会をいただきまして、ありがとうございます。札幌市教育委員会 学校教育課 教育課程担当課の指導主事アルティでございます。今回は、教育委員会として、がん教育等で大変お世話になっております、当クラブの中園先生よりお話をいただきまして、札幌市の教育の現状を皆様の前でお話させていただく運びとなりました。どうぞよろしく申し上げます。

さて、私自身についてですが、もともと中学校の保健体育科教員でございます。指導主事となる

前に、青年海外協力隊員としてアフリカのザンビアで約2年間活動するといった経験がございます。本日は、その経緯も含めた自己紹介をさせていただいた後、札幌市の教育の現状について、お伝えしていきたいと思っております。

1 自己紹介

○私について

- ・10歳でバスケットボールと出会い、スポーツ推薦で高校に進学。
- ・大学卒業後、中学校の保健体育科教員に。
- ・2013年7月～2015年3月まで青年海外協力隊に、現職教員特別参加制度で参加。アフリカのザンビアに赴任し、1年9ヶ月間、現地の教育大学で先生のたまごに体育を教える。
- ・2019年4月～札幌市教育委員会指導主事

○青年海外協力隊とは？

・国際協力機構（JICA）日本政府の開発途上国支援を実施する機関

・JICAの事業内容は多岐にわたっているが、その基本は「人を通じた国際協力」

○なぜ協力隊に行こうと思ったのか

・先生となって10数年…自分が、せまい世界の中で「かたまって」きている気がした。

・私は、果たして中学生の目に「なりたい大人」の姿として映っているのか？

・そんな時、職員室の片隅の書籍コーナーで1枚のパンフレットを見つけた。

→「青年海外協力隊 現職教員特別参加制度」？これだ！

2 ザンビアでの活動

○ザンビアってどこ？

・世界三大瀑布の一つ「ビクトリアの滝」がある内陸国

・人々は明るく友好的

・73もの民族があるが、内戦等はなく平和な国であることが誇り



○ザンビアの学校

・小学校 1年生～7年生（Grade 1～7）

・中学校 8年生、9年生（Grade 8～9）

・高校 10年生～12年生（Grade 10～12）

・大学 2年制、3年制、4年制

○ザンビアの体育

・国の制度では、体育は教育課程に位置付けているが、特に実技はあまり行われていない実情があり、そのことで体育をしっかりと教えらる先生が少ない現状。

→活動の大目標：ザンビアに体育教育を普及させる

○配属先の教育大学での活動紹介（写真）



○ザンビアでの学び

・教育が、人をつくる。

・自分の価値観は、日本人としてのもの。世界中の、たった一つ。

・豊かさとは、何か。

3 札幌市の教育の現状

○札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」

・未来に向かって想像的に考え、主体的に行動する人

・心豊かで自他を尊重し、共に高め合い、支え合う人

・ふるさと札幌を心にもち、国際的な視野で学び続ける人

○令和4年度 札幌市の教育の重点の基盤

・「人間尊重の教育」

○令和4年度の包括的重点

・さっぽろっ子「学び」のススメの活用

・札幌市では、さっぽろっ子「学び」のススメを策定しています。これは、子どもと家庭、子どもと学校、学校と家庭をつなぐものです。子どものよさや可能性に目を向けて共感的・肯定的なメッセージを伝え、子どもの成長を促すことを目的とした「まほうのかいわ」で、習慣づくりを呼びかけております。



●「小中一貫した教育」の推進（校種間連携）

・「小中一貫教育」という言葉をお聞きになったことはございますか？

・教育基本法や学校教育法の改正により、小学校と中学校の9年間を通した教育の目的や目標が新設され、学習指導要領においても「学校段階間の接続」の必要性が述べられました。

・それらを受けて、札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」の実現に向けては、さらなる工夫が必要として、令和2年2月に「小中一貫した教育」基本方針を策定しました。この方針において、令和4年度から全ての市立小中学校で全面实施となりました。

・札幌市の小中一貫「した」教育には、これまでの札幌市における学校教育をベースに、更なる充実を目指すという願いが込められています。



・札幌市では、教育の質を高めるための手段であることを理解いただくために、小中一貫「した」教育としました。全市の「共通性」と、地域の「独自性」を生かした、いわば、小中一貫した「多様な」教育としたいという願いです。



・また、下は、先ほどご説明しました札幌市学校教育の重点に示している、「自立した札幌人」の実現に向けて、幼小中高にわたり、各学校段階において目指す子どもの姿です。

	未来に向かって創造的に考え、主体的に行動する人	心豊かで自他を尊重し、共に高め合い、支え合う人	ふるさと札幌を心にもち、国際的な視野で学び続ける人
幼稚園段階 (めばえる)	○自分なりに考えながら物事をやり遂げる。 ○様々なことに興味・関心をもち、楽しんで取り組む。	○先生や友達との関わりを深め、愛情や信頼感をもつ。 ○友達よさに気付き、一緒に楽しく活動する。	○自然と触れ合うなど身近な環境に親しみ、興味・関心をもち、 ○発見を楽しんだり、考えたりして生活に取り入れる。
小学校段階 (そだつ)	○新たな課題に興味・関心をもち、進んで考えたり工夫したりする。 ○自分の目標をもち、明るく前向きな気持ちで行動する。	○思いやりの心をもち、相手の気持ちや立場を理解する。 ○互いに認め合い、動かし合ったり助け合ったりする。	○学校や地域での様々な活動を通して、自分の住んでいる地域や札幌のよさに気付く。 ○郷土や我が国の伝統・文化に触れるとともに、口岸の人々や文化に興味・関心をもち、
中学校段階 (のびる)	○自ら課題に気付き、その解決に向けて必要な情報を集め、考えたり表現したりする。 ○自分の目標に向かって希望と勇気をいだし、強い意志をもって行動する。	○互いの個性や立場を尊重し、様々な見方や考え方について理解する。 ○友情の尊さを理解し、信頼し合う中で、互いに励まし合ったり高め合ったりする。	○広い視野から札幌の特色を理解し、社会の一員としての自覚をもって行動する。 ○郷土や我が国、口岸の伝統・文化を理解するとともに、国際的な視野から物事を考える。
高等学校段階 (ひろく)	○未来を切り拓くために、自らの生き方について、広い視野から考えたり、表現したりする。 ○よりよい社会の実現に向けて、	○自他の人格を尊重し、互いの考えや主張を理解するとともに、義務と責任を果たす。 ○互いの立場や意見を尊重し、高	○ふるさと札幌の伝統・文化に対する理解を深め、社会の一員として継承・発展に努める。 ○郷土や我が国、口岸の伝統・文化を

・小中一貫した教育の前には幼児教育があり、先には、高等学校段階があります。幼小中高と各段階を子どもの姿でつなげ、「自立した札幌人」の実現につなげていきたいと考えております。

・札幌市の「小中一貫した教育」では、9年間の系統性・連続性のある教育の実現を目指し、中学校区を基本単位とした、中学校とその中学校に進学する小学校からなる一つのまとまりをパートナー校として編成しています。

・このパートナー校が共通して推進する取組を上での「二つの柱」に焦点化し、全市どの小中学校においても授業改善・子ども理解を推進していくこととしています。

全市共通で推進する「二つの柱」

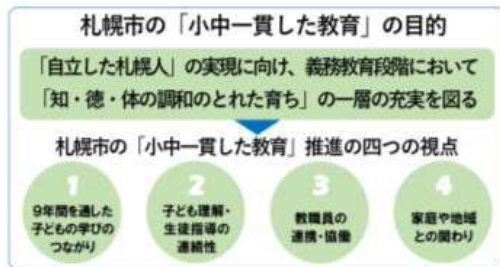
課題探究的な学習

小・中学校ともに、「課題探究的な学習」を推進することにより、中学校に進学しても、大きな隔たりを感じることなく学び続けることができ、生きてはたらく知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成することができる。

発達の段階に応じた継続的な子ども理解

小・中学校のそれぞれの指導を教職員が相互に理解し、生徒指導、特別支援教育等を充実させることで、9年間の子どもの発達の段階に応じた指導が可能となり、校種を超え、継続的な子ども理解につなげることができる。

・また、推進の四つの視点は下のようになっており、子どもの学び、子ども理解、教職員のつながり、そして家庭や地域とのつながりを大切にしたいと考えております。皆様におかれましては、この視点において、ぜひ札幌市の学校教育に御理解と御協力をいただけますと幸いです。



●ICTを活用した教育の推進（情報教育）

・皆様は、昨年度から既に全国の小中学校では一人一台端末が導入されているのをご存知でしょうか。国が GIGA スクール構想というものを計画していたところ、このコロナ禍で計画は驚異のスピードで前倒しされたのです。

・札幌市においても、昨年度の1年間で様々な整備がなされ、学校ではかなり活用が進んでおります。例えば話し合い活動やグループワークといった、コロナ禍においても協働的な学びが可能となります。

・小中一貫した教育の視点からいうと、例えば、複数の小学校から一つの中学校に入学する場合、小学校同士で活用の仕方が共有されていると、中学校での学びも効果的に進められます。また、中学校は、小学校でどのように活用されているかを知ること、小学校での学びの上に中学校での学びを積み上げることができます。

・このように、情報活用能力においても、パートナー校同士での情報共有は、学びのつながりに大変有効です。



前回例会記録 2257回 5月23日(月) 16:30

50・51周年記念式典祝賀会





たくさんのご来賓、ご家族にご参加頂き大変素敵な会となりました。
ご準備いただいた実行委員の方々、ありがとうございました。

北クラブ情報

例会日 毎週月曜日 12:30 **例会場** センチュリーロイヤルホテル



札幌北RCホームページ
<http://www.sapporo-north.jp/>



- * 6月 3日(月) 尺八演奏 出席・音楽担当例会
- * 6月 13日(月) **休会(理事会裁量)**
- * 6月 20日(月) 第4回クラブ協議会
第2回次年度クラブ協議会

他クラブ予定表

札幌西		会員卓話		米山奨学生卓話
はまなす	31日	「創立30周年記念例会」	7日	愛須会長卓話
札幌清田	(火)	クラブフォーラム	(火)	6日へ繰上移動例会 ※受付なし
大通公園		未定		未定
モーニング		移動夜間例会 ※受付なし		休会(理事会裁量) ※受付なし
札幌	6/1	移動夜間例会 ※受付あり	8日	会員卓話
真駒内	(水)	休会(理事会裁量) ※受付なし	(水)	次年度クラブ協議会
新札幌		理事・役員他退任挨拶		休会(例会取消)
札幌東	2日	休会(理事会裁量) ※受付なし	9日	休会(理事会裁量) ※受付なし
札幌西北	(木)	休会(理事会裁量) ※受付なし	(木)	ゲスト卓話
札幌幌南	3日	ゲストスピーチ	10日	五大奉仕委員長 退任挨拶
札幌手稲	4日	ゲスト卓話	11日	退任挨拶 五大奉仕委員長・会計
札幌南	6日	会員卓話	13日	未定

※予定は変更になる可能性があります。ご注意ください。